

活動名	闘病中の子どもに対して笑いを伝え、 心豊かな生活を取り戻す。		団体名称	NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会	
			活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動	
			活動の目的	⑤障がい、難病の子どもへの支援活動	
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果		■各スケジュールごとの活動内容	
欧米諸国などクラウン（道化師）先進国において、クラウン（道化師）は、サーカスや遊園地でショーを見せるだけでなく、様々な場所で活躍しています。その活動のひとつに「ケアリングクラウン」という文化があり、障がい者施設・老人ホーム・ホスピス・病院・被災地・戦地などで活動しています。		・全国94病院に拡大。 ・認定クラウンが106名に 研修生が22名に拡大。		病院訪問活動：助成開始当初の85病院から94病院まで拡大してより多くの子ども達のところへ訪問することが出来ています。 育成活動：イベントを年間13カ所を予定していましたが10カ所になりました。養成講座は予定通り開催しました。（13名受講）	
■活動目標		病院へクラウンが訪れ、笑いや楽しさで子どもを中心とした長期療養の患者の創造性を膨らまし、能動性を引き出し社会性を取り戻すお手伝いをする。			
■長期成果		クラウンが定期訪問することで子ども達や病院関係者との信頼関係を構築して子どもたちが忘れてしまっている笑顔を取り戻すことのお手伝いをさせていただきます。 病院全体を笑顔あふれる場所へと変化させることにより、子ども達の入院生活が辛い思い出から少しでも楽しかった、良かった出来事へと変わってくれることを願います。			
活 動 風 景					
					
子どもたちの笑顔		クラウン大集合		賛助会員の皆さんと	
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化		■得られたノウハウの共有・発信	
<p>（得られた成果） 全国の訪問病院が94病院になり関わった子どもの人数は、昨年の人数を上回ることが予想されます。より多くの子どもたちとその家族の笑顔のために活動することができました。</p> <p>（今後の課題） 今後の課題は、まだまだ知らない方がいる活動ですので、多くの方にまずは知っていただくこと、地道に活動を継続していくことが課題です。</p>		<p>訪問病院の拡大は、活動を知っていただき良さを理解していただいた成果だと考えています。子どもたちは笑顔になり辛い入院生活が楽しい思い出に変わったと話してくれます。なかには、「退院の日に、クラウンの訪問を待ってから帰る」と言って退院の時間を遅らせた子どもがいました。覚えたマジックを見せてくれ、保育士さんも子どもの変化に驚いていました。</p> <p>数値などで変化が分かる活動ではありませんが、子どもたちが笑顔になるのが変化だと感じています。</p>		<p>（得られたノウハウの共有） ・より多くの方に活動を知っていただくために、プレスリリースを強化すること。 ・イベントに足を運んでもらうための情報発信すること。 ・地域にあった方法で、情報発信すること。</p>	
〒101-0046 （住所）東京都千代田区神田多町2-4-2レジディア神田1102 （団体名） NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会 （ホームページ） : http://www.hospital-clown.jp/				助成金額 500,000円	
				助成期間 H29.9.1～H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。